

健全な男女共同参画社会をめざす会

正しい男女平等とは

[トップ](#) [入会のご案内](#) [会報](#) [活動内容](#) [リンク集](#) [お問い合わせ](#)

[会報一覧に戻る](#)

なでしこ通信 25号

なでしこ通信



第25号

○失われた小さな命たちのために

めざす会幹事 中学校教諭 大津寄 章三

○第7回講演会を終えて産経新聞記事

参加者の声

「失われた小さな命たちのために」 めざす会幹事 中学校教諭 大津寄 章三

去る9月28日、本会は東京から桜井裕子氏をお迎えして講演会を開催した。

その中で、講師が紹介された中絶の話は、聴衆に大きな衝撃を与えたにちがいない。

ある医師が最終月経を偽った（つまり法的に許容できるよう遅めに告げた）女性の言葉

を信じ、中絶手術をしたところ、掻爬されて出てきたのはほぼ人体の形を備えた胎児であった、という。

血まみれになったばらばらの四肢を前にしたその医師は、手術室で**天の声**を聞く。

「もう、おまえはやらないね」

彼が中絶手術をせざるをえない勤務医の職を捨て、開業医となることを決意した事件であるという。

同様にこの種の手術に手を染めている医師の中には**PTSD**になるケースも多く、ある医師は「電車に飛び込もうと考えたことがある」とその胸の内を語っている。

私は学生時代、仲間とともに年間実数二百万件ともいわれる中絶を合法化している優生保護法（現・母体保護法）の改正運動に取り組んだことがある。

今日なお米大統領選の争点のひとつは中絶の可否である。

まぎれもなく人間として誕生するはずの生命を、大人の都合により母体内で葬り去ってもいいのか、というきわめて重い命題は、国家指導者の哲学や理念を左右する大問題として米国では広く認識されている。

一方わが国ではどうか。

私が実に不可解に思うのは、中絶を「**女性による自己決定権**」として人権の文脈で肯定的にとらえようとする人々に限って、政治的には**憲法九条の平和主義**を称揚し、**反戦平和**を呼号し、**死刑廃止**を主張しているということである。

生命とは戸籍に登録されてこそ市民的尊重に値するものであり、産声をあげるまでは「女性の体内における一異物」としてしか認識していないのではなかろうか、と思わされることさえある。

彼（彼女）らがしきりと唱える育児の社会化やシングルマザーのすすめ、家族的価値の

相対化などをつなぎあわせてみると、なるほどつまり「個」の自由を妨げかねない諸価値や子供（もしくは子育て）はかなり低い位置づけにあるのだなということに気づく。

長い時代かかって紡ぎ出された伝統的な「らしさ」という文化や理想型も、彼らにすれば「個」の発達を阻害する桎梏としか認識されていないのであろう。

男女共同参画社会の理念が、いと小さき者に対する生殺与奪につながりかねない価値観を含んでいないことを切に願っている。

カトリックである渡部昇一氏は、中絶を「号天罪」、つまりだれにも訴えることができない胎児が天に泣き叫びながら訴える罪だと言われた。

今日多くの教育現場で見聞される事件や事例の根底には、この恨みを呑んで葬られた戦後幾千万の胎児たちが関係しているのではないか、たとえば、人々は私をオカルト趣味の教師と笑うであろうか。



産経新聞 平成20年9月29日（月）

「性感染症を防ごう」松山で桜井裕子さん講演」

10代など若い女性に広がっている性行為感染症（STD）を防ごうと、ジャーナリストの桜井裕子さんを迎えた講演会（産経新聞社松山支局など後援）が28日、松山市内で開かれた。

講演は、健全な男女共同参画社会をめざす会（小笠原ミワ子会長）が主催。桜井さんは

「若者に蔓延する性感染症」と題して講演。講演などによると、11年前の国の推計でも淋病、クラミジアなどのSTDに全国の男性約25万人、女性35万人が感染しているとされている。特に15歳～19歳の年代でSTDが急増している。

淋病、梅毒、クラミジアなどの治療は可能だが、病原体の多くが耐性を持ち、クラミジアは不妊、子宮外妊娠、流産の原因ともなる。深刻なのは若い女性に増えている子宮頸がん。初性交年齢が16歳以下だと、19歳に比べて26倍も子宮頸がんになりやすいというデータもあるという。

同会は、これまでの性教育のあり方そのものを問い、規範意識をもった「家族や人間の価値を教える性教育」の必要性を訴えている。9月29日（月）

なお、この講演会は、産経新聞社以外に下記の団体の後援をいただきました。（順不同）愛媛県・愛媛県教育委員会・松山市・松山市教育委員会・愛媛新聞社・朝日新聞松山総局・読売新聞大阪本社・毎日新聞松山支局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ日本会議愛媛県本部・（社）松山青年会議所・愛媛県モラロジー協議会
また、コムズの男女共同参画市民活動支援事業として認定され、助成を受けました。



参加者の声（アンケート回答より）

沢山のご感想をいただきました。

●志（道徳、恥）・祈り（敬虔）・美（機微、情操）の話がとても良かった。（60代女性）

●最先端、最新の状況を取材されているジャーナリストの立場で、日本の将来を見据えた論文を度々発表されており、敬意を表すとともに今後の活躍を期待します。本日の講演も期待に違わず核心を衝いた内容であり、地方政治家、行政マンへの影響大なるものがあると思い感謝しています。学校と霞ヶ関官庁の驚くべき実態に呆れた。官庁とマスコミの奮起に期待する。（70代男性）

●熱意と誠意が感じられた。厚労相になって欲しい。（50代男性）

● Condom は病気、エイズにもうつらないと思い込んでいました。

●若者の性の実態に驚いた。性と子供の心身の飢えの関連になるほどなと思った。学校で是非教えてあげてほしい。行政の方でも、広く呼びかけてあげてほしい。

●10代の学生の頃にこのような講義をしっかりと受けたかったと思います。様々なケースのお話を聞いて色々と考えさせられました。（20代女性）

●学校での性教育は、良き点もあると思います。親が恥ずかしくて、という場合有効だと思えます。ただし、学校側での性病への警鐘や自分を大切にする等、根底で先生の言われる考えは大切だと思えました。我が子でも、同級生や友人がステディーセックスをしていると、自分もいいのかと思ってしまう不安もあります。やはり親が我が子に自分を大切にする事の大事さを常に発信することを続けたいと思えます。雑誌、特にファッション雑誌と同じような装丁の本で、ひどい性描写等されているものがある。10代前半で目にすることへの害はすごいと思えます。問題として考えて頂きたい。（50代女性）

●学校現場の現況に驚くばかりであります。国をほろぼすにはセックスを勧めれば簡単であると聞いたことがあり、日本の滅亡が近いとの思いである。やはり学校教育の中で

結婚まではセックスはやめさせるべきことを徹底する教育を進めることが全てを正常にかえすと思う。(60代男性)

●孫6ヶ月の男の子がいます。先生の言われるスキンシップ、大切だなと思っています。私達が結婚して3人の男の子が産まれました。母乳で育てだきしめて一人前になり、結婚し、父親になりました。今日お話を聞いてよかったなぁと感謝しながらお話を聞かせてもらいました。6ヶ月の孫は母乳で育っています。離乳食も始まり、一日一日成長がわかります。家に帰りましたら、嫁に「一日一回母の胸」を伝えます。(60代女性)

●娘にどう教えるか、昔は教えなくても自然に分かったが、今の世代はたいへんな時代です。愛を捧げて、あまりあるものと分かるまで先祖から頂いた命を大切にすることを教えたいと思います。(70代女性)

●人間として大切なことを聞くことができ良かったと思います。性教育については自分が考えていたことをズバリと話していただき気持ちがスッキリしました。(60代女性)

●妊娠中絶について、以前より問題に感じておりましたが、産婦人科の立場の気持ちまでは伺った事が無く、医師がPTSDにかかるというお話には驚きました。こういう話も学生達に母子の心・体の話と共にされると一層良いと思いました。(40代女性)

●次世代につながる性病のこわさが分かりました。(70代女性)

●命はつながっている、家族の絆の大切さを感じました。志の大切さに共感いたしました。(60代男性)

●今日の学校教育の誤りのデータをくわしく説明いただき、よくわかりました。この先生のご提言を行政の文科省が真剣に取り上げてほしいし、又、関係機関、代議士、地方行政官、教育現場の先生方にも強く訴えてほしいです。

●マスコミではぜったい流さない話を聞かせていただきました。真実を知らなければならぬし、今日の学校教育の誤りのデータをくわしく説明いただき、よくわかりました。この先生のご提言を行政の文科省が真剣に取り上げてほしいし、又、関係機関、代議士、地方行政官、教育現場の先生方にも強く訴えてほしいです。知った上で何ができるかを考え実行していかないと大変な事になっていることを知りました。（40代男性）

●食事療法、運動療法を病気を持つ、持たないは別にして、生きている間続けること。よくないことはしない、これが生きる決め手です。誠実に生きることにつきます。（70代男性）

●人生の目的、喜びを感じられない人達は快樂を求めるしかないのでは。民放では快樂しか放送していない。哲学、宗教心、立派な大人が必要では。大人がもっと児童に夢を与えるようにならねばならない。（60代女性）

●日本の子供達を大人の都合で育てている人が多いと知りびっくりしました。変わっている社会になりつつある、元にもどすことをみんなで考えなければいけない世の中になってしまっているのだとびっくり。関わる人達にやさしく接しなくてはと思いました。（60代女性）

●純潔教育 No Sex（50代女性）

●学校教育の中でその恐ろしさを教えることと、PTAの会にても現状を伝え、家庭の中でも親子の話しあいが必要。（60代男性）

●自分を大切に思う教育が大切だと思います（自尊感情を育てていく）。（60代女性）

●若い人は割合こんな事をしりません。若者に知ってもらったら良いと思う。（70代女性）

●心の教育、道徳。良い事はよい、悪い事は悪いという教え。（40代男性）



現状が大変危機的であることを講演を聴いてはじめて分かったという声が大勢でした。また性感染症を防ぐのに有効と思われる対策案をお書きいただきました。道徳教育、モラル、また家族の絆の見直しという、いわゆる性教育とは違った視点が殆どでした。

会場にはいろんな年代の方がいらして下さっておりましたが、アンケートをご記入くださるのは圧倒的に年配の方々ようです。

■□□事務局からのお知らせ■□□

■桜井裕子先生のご講演テープを200円（送料込）で販売しております。講演録は「めざす会」のホームページでご覧いただけますが、

郵送をご希望の方は下欄の事務局までお申し込み下さい。

■「『教育再生への道は日本独自の価値観教育にあり』というスローガンを掲げた岡山の高校で、ある女子高生は女子だけの講話があると聞いたとき、最初は自習の男子が羨ましい、性教育なんて面倒くさいと思ったそうです。

しかし、先生の「命をかけて話す」という言葉に聞く気持ちになり、「三つ子の魂百までも」の意味や大切さがよく理解できた、

大きな病気を克服して家族のために頑張っているお母さんをあらためて大切にしたいと思ったそうです。

素晴らしい性教育ですね。

■今の高校家庭科の教科書をお読みになったことがおありでしょうか。

参議院議員の山谷えり子先生の家庭破壊科ではないのかというお言葉が甦ります。次号でご紹介致します。

■孫育てにお忙しい会員さん、ご自身はふたりの女の子をお育てになりました。

しかし男のお孫さんが生まれてすぐに男の子と女の子は全く違うと感じられたそうです。

男の子の活力に振り回されたり、感動したりの日々とか。

■めざす会の協力団体であります「円ブリオえひめ」の「第18回いのちの教育講演会」のちらしを同封致しました。

エンブリオはお腹の赤ちゃんをサポートする基金や妊娠SOSほっとラインを運営されています。

■月2回「めざす会」学習会を開催しております。日時（原則は第1&3金曜日）や会場はお問い合わせ下さい。

■会費切れの会員の方には振替用紙と「入会のご案内・ご賛同者名簿」を同封しております。現在の会員数は667名。

1,000名をめざしております。この機会にご家族やご友人にもご入会いただけますようお願いください。

新しい方のお名前は振替用紙の通信欄にお書き下さい。

健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 小笠原ミワ子

〒790-0931松山市西石井1-3-30 電話090-3181-4004 FAX 089-964-3903

